

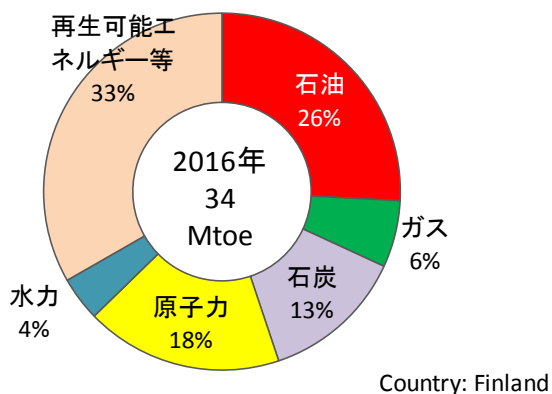
## 2-9 フィンランド

### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

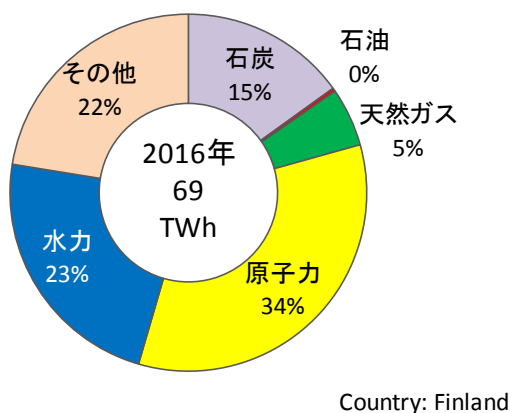
- (1) 一次エネルギー供給量 (2016年) : 34 百万 toe (日本の 0.08 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2016年) : 6.16toe (日本の 1.84 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2016年) : 52%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2015年) : 42.1 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 3.7%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2015年) : 7.70CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 85.6%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2015 年末) : —

一次エネルギー供給構成 (2016年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

発電電力量構成 (2016年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

- 雇用経済省がエネルギー政策、気候変動政策の策定、実施に責任を負っている。

### (2) 基本政策

- フィンランドのエネルギー政策は、エネルギー、経済、環境の3つの基本原理の上に成り立っており、エネルギー供給の確保、競争力のあるエネルギー価格、EU 共通エネルギー・環境目標への合致が中核的な要素となる。他の重要な原則として、持続可能な開発や環境に関する目標とエネルギー経済を統合することが挙げられる。
- フィンランドは、「国家気候変動・エネルギー戦略」を2001年に策定し、その後随時改訂している。2013年3月に策定された「国家気候変動・エネルギー戦略2013」では、エネルギー効率の改善や温室効果ガス排出量を2020年までに21%（2005年比）削減、最終エネルギー消費に占める再生可能エネルギーの割合を2020年までに同38%へ拡大させるといった2020年へ向けた目標が堅持されるとともに、石油消費の削減や2050年へ向けた長期的なロードマップ策定が掲げられている。
- 2016年11月、政府は「2030年までの国家気候変動・エネルギー戦略」を承認した。この戦略によると、2020年代には再生可能エネルギーの割合が50%を超える。また、2050年までに再生可能エネルギーのみをベースにした経済に移行する可能性も評価された。

### (3) 最近の動向

- 2015年3月、フィンランド議会は「気候変動法」を過半数の賛成で承認した。同法は、温室効果ガスを2050年までに1990年比で80%削減という排出削減目標を定め、その達成へ向けた気候変動政策の策定と進捗監視の基盤となる。
- 2016年4月、Tiilikainen 農業・環境大臣はパリ協定に署名。
- 2016年7月、欧州委員会は、フィンランドのBaltic Connector OyとエストニアのElering ASに対して、Balticconnector ガスパイプライン建設に向けた資金を割り当てることを決定。欧州委員会は、総コストの75%に当たる€1.875億を拠出し、パイプラインは2020年までに完成する予定となっている。

## 3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2014年5月、第5回日・フィンランド科学技術協力合同委員会がHelsinkiにて開催された。資金助成機関間の協力、再生可能エネルギー、産官学連携等の分野における両国間の活動に関する協議等が行われた。
- 2016年5月、Rehn 経済大臣が来日し、日本フィンランド間の通商や投資、中小企業の国際化、第三国市場での二カ国協力と戦略的パートナーシップなどについて、関係各所との意見交換を実施。

## 2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Finland

(2016年)

|  |            |                              |
|--|------------|------------------------------|
| (1) 一次エネルギー供給量                             |            | 34 Mtoe                      |
| (2) 一人当たりの一次エネルギー供給                        |            | 6.16 toe/人                   |
| (3) GDP当たりの一次エネルギー供給                       |            | 0.14 toe/千ドル                 |
| (4) エネルギー自給率                               |            | 52 %                         |
| (5) エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量(2015年)      |            | 42.1 百万CO <sub>2</sub> 換算ton |
| (6) 一人当たりエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量(2015年) |            | 7.70 CO <sub>2</sub> 換算ton/人 |
| (7) エネルギー源別構成率                             | 石炭         | 13 %                         |
|  | 石油         | 26 %                         |
|  | 天然ガス       | 6 %                          |
|  | 原子力        | 18 %                         |
|  | 水力         | 4 %                          |
|  | 再生可能エネルギー等 | 33 %                         |
| (8) エネルギーの輸入依存度                            |            | 48 %                         |
| (9) 石油の輸入依存度                               |            | 99 %                         |
| (10) 輸入原油の中東依存度                            |            | 0.0 %                        |
| (11) 原油の輸入先                                | 第1位        | ロシア                          |
|  | 第2位        | ノルウェー                        |
|  | 第3位        | デンマーク                        |

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(10)～(11) : Oil Information 2017, IEA